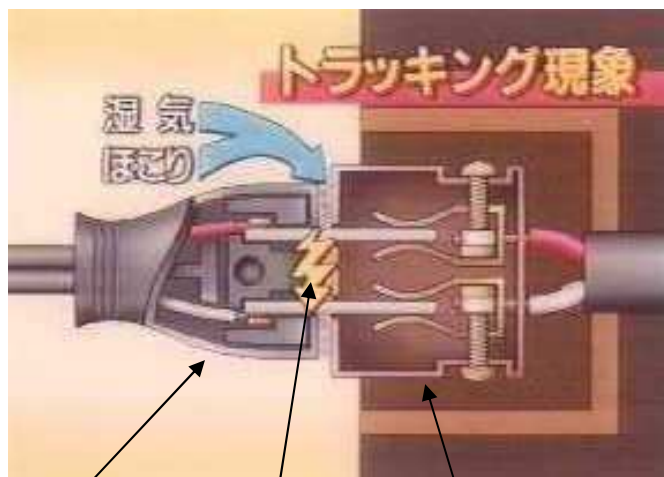


トラッキング現象にご注意を！



プラグ 刃と刃の間 コンセント

今回は前々回のブレーカーに関連した「トラッキング現象」についてお話しします。

「トラッキング現象」とは電気コンセントから火災が起こるといふ恐ろしい現象です。その仕組みと防ぐ方法を充分ご理解下さい。

●トラッキング現象とは

左図のような一般的なコンセントにプラグを長期間差しっぱなしにしていた場合にプラグの刃と刃の間に



デジタルエイド

第120号
2012年

お気楽家電サポート
月額1,960円

ホコリが溜まります。このホコリに湿気が加わると刃と刃の間に微弱な電気が流れるようになります。これが繰り返されるとホコリが炭化されより多くの電気を流してしまいます（絶縁低下）。その結果発熱、発火ということになります。

トラッキング現象はちょっとしたことに前々回登場しました漏電ブレーカーでは検知できません。漏電ブレーカーは「決められた電路以外に電気が流れた場合に遮断する」という仕組みになっています。トラッキング現象では刃と刃の間という電路以外の場所を電気が流れるのですが、また戻ってくるので漏電とは判断できないのです。

平成23年中、東京消防庁管内でトラッキング現象による火災が80件も発生しています。

●予防・対策

一般的にはこまめにコンセントからプラグを外して掃除をしましょう、ということになっていますが現在のように大量の電気製品が存在している今日では家中のコンセントを掃除することは事実上不可能かもしれません。

しかし、湿気の多い場所（洗面所、脱衣場、

消防団員募集中

帯江分団ではボランティア精神溢れる若い方を募集しています。

トイレ、台所等）では実践していただきたいと思っています。

最近の電気製品や延長コードではプラグの刃にトラッキング現象防止処理がなされている物も増えてきました。



トラッキング現象防止処理がなされたプラグ



また、最近トラッキング現象を防止できるブレーカー（安心ブレーカー）やコンセント（プレトラックコンセント）も発売されています。

私の考えではコンセントの大元に位置するブレーカーがおすすです。



あんしんブレーカー



プレトラックコンセント

火災につながることでありますから十分に気をつけて下さい。

おわり